

## 第1号議案

# 令和5年度 事業報告

### <建設業を取り巻く環境等>

令和5年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが続いている。コロナ禍で先送りされた需要の顕在化などから、消費や設備投資を中心に引続き堅調な伸びを見込んでいる。しかし、原材料価格の高騰や物価高による消費動向等による下振れリスクの懸念等を、注視すべき状況が続いている。

一方、世界経済においては、コロナ禍から回復傾向をたどっているが、高インフレと金融引締めで景気の回復ペースが鈍化している。資源価格の上昇、金融資本市場の変動や国際紛争等、見通し困難な環境下にあり、これらの影響にも併せて留意する必要がある。

建設業界に目を転じると、令和5年度の建設投資見通しは、70兆3,200億円と、前年度を上回る(2.2%増)水準となった。このうち、政府投資は25兆3,400億円前年度比4.5%増、民間投資は44兆9,800億円前年度比1.0%増となっている。(国土交通省総合政策局による「令和5年度(2023年度)建設投資見通し」)

建設投資は、平成4年度の84兆円をピークに減少に転じ、平成22年度には平成4年度の半分程度にまで減少したが、その後、東日本大震災からの復興等により回復基調となっている。

さらに、近年多発する大規模災害への備えとして「国土強靱化加速化計画」のもと防災・減災対策、既存インフラ更新と新規インフラ整備に加え、都心部では大型の再開発事業や建物更新事業が活況を呈している。一方、深刻な人手不足、長時間労働の是正や週休二日制の確保、さらに建設需要の増大による人件費の上昇や、資機材の価格高騰等への対応が大きな課題となっている。これらの課題に対応するため、国は「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の改正や「働き方改革関連法」の成立等を図り、将来の担い手確保・育成や若年労働者の入職促進、労働環境の改善、女性のさらなる活躍等に加え、建設産業の生産性向上を後押しする各種施策を継続的に講じている。

また、国土交通省は設計労務単価を、11年連続引き上げる等、具体的な取組みも行っている。

## <空調衛生工事業界の重要課題>

### 1 コンプライアンスの徹底及びBCP（事業継続計画）の確立

法令遵守は、平成19年6月に施行された「建設業法令遵守ガイドライン」及び平成23年8月に策定された「受発注者間の建設業法令遵守ガイドライン」に示されているとおり、企業の当然の行動規範であり、BCPの確立も合わせて、建設業界が社会の信頼を得、事業を推進する上での必須の課題である。

当会では、各会員企業、社員が常に担うべき社会的使命、責任を強く自覚し遂行するため、平成26年3月31日、会長、副会長及び理事で構成する常置委員会「コンプライアンス委員会」を設置した。各種講習会などを継続して開催し、諸施策の確実な実施を通して、「法令遵守」のなお一層の徹底を図っていかねばならない。

### 2 適正な価格及び適切な工期での受注

「入札契約制度」の改善については、当会では平成20年11月「入札契約制度検討P・T」を設置し、「適正な価格での受注」を中心に諸問題の抽出及び改善策を取りまとめ、関係機関へ要請してきた。

また、新たな人材を確保するために欠かすことができない「適切な工期の確保」、及び「長時間労働の是正」「週休二日制の確保」については、10月に実施した「働き方改革に関するアンケート調査」の結果をもとに、発注者の理解・協力を強く要請した。

さらに、改修工事においては、適正な工期の設定や施工条件、積算等、計画段階での的確なタイミングで建設関係者が相互に情報共有を行えるシステムの構築が望まれる。

### 3 技術者及び技能者の確保・育成

建設業界では、技術開発を担い、工事の品質を左右する優秀な技術者・技能者の退職・高齢化、そして、若い新規入職者の減少等担い手不足が大きな課題となっている。特に高卒就業者3年以内の離職率は、42.4%と依然として高い水準となっている。

空調衛生工事業界が持続的に発展し、人材確保に対する危機的な状況を打開するためには、当会の枠を超えて、建築工事業界が一体となり総力を結集して取り組むことが重要である。そのためにも、現場の最前線を担う、関東ダクト工業会、関東甲信越保温保冷工業協会、関東配管工事業協同組合の設備3団体、さらには他業種団体とも密接な連携を図り、将来に明るい希望を抱ける、魅力ある業界とするため

に取り組んでいく必要がある。

これを踏まえ、平成28年度より、「人材確保・育成に関する事業」を事業計画の重要な柱として位置づけ、各委員会において継続して各種活動を行ってきた。

#### 4 安全・安心を確保した職場環境づくり

建設業労働災害防止協会は、平成30年3月に「建設業労働災害防止に関する中期計画と今後の展望」（第8次建設業労働災害防止5ヵ年計画）を策定した。これに基づき当会においても、「ワークライフバランス」の推進や「リスクアセスメントの実施」をはじめとする労働災害防止対策の徹底を図るため、安全体感教育や労働安全衛生特別教育を開催し、安全に対する意識の向上に努めている。

#### <地球環境問題に対する対応>

パリ協定で掲げられた目標達成に向けて政府は、“温室効果ガスの排出量を2050年度に実質ゼロにする”との方針を明言した。

一方、東京都は、世界のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京戦略」を2020年に策定し、低炭素電力の選択、建築物の省エネや再生可能エネルギーの利用拡大による削減率の向上などの施策を実施している。

低炭素電力としての原子力発電については、「東日本大震災」による東京電力福島第一原子力発電所の事故のあと、政府は、新しく原子力発電所を作らない等の抑制的な原子力政策をとってきたが、2050年の脱炭素社会の実現と、エネルギーの安定供給のため、原子力発電を最大限活用する等の基本方針を決定し、原子力政策の方向性は、大きく転換することになる。

このような状況下、建設業界、特に空調衛生工事業界は、地球環境に優しく、省資源技術の開発・実用化に関して、重要な役割を担う専門家集団として、これまで以上に期待されている。総合エンジニアリングを核とし、技術力の開発・向上により、顧客施設の省エネルギー化、SDGsの目標達成も含め、地球環境に優しい社会を築くため、更なる貢献をする必要がある。

#### <令和5年度事業報告>

当会の運営に当たっては、定款に定める、空調衛生工事業として「空調衛生設備を通じて公共の福祉増進に寄与すること」の基本理念に沿って、事業計画の実施に全力をあげて取り組んできた。

さらに、情報の公開と共有を基本に据え、事業の効率化を積極的に推進しつつ、

法令遵守等に配慮し事業執行に努めた。

以下、主な事業を報告する。

#### 1 入札契約制度等に関する要望

令和5年度においては、国土交通省関東地方整備局営繕部、東京都財務局、防衛局、および国立病院機構等の8独立行政法人等に対して、入札契約制度、働き方改革に対する課題などの要望を対面または書面で行った。特に、長時間労働の是正、週休二日制の確保についての、理解・協力を強く要望した。

#### 2 コンプライアンス（法令遵守）への取組み

「建設業のコンプライアンス」について、専門家による講習会を、令和6年2月に日空衛と共催で実施した。また、3月にはコンプライアンス委員会を開催し、会員企業に対しコンプライアンスの更なる徹底について注意喚起を行った。

#### 3 都立蔵前工科高校出前講座及び現場見学会等の実施

将来を嘱望される設備工業科生徒が、当業界の社会的役割と実務について理解を深めるため、2年生を対象に出前講座を7月に開催した。空調衛生設備の基礎及び現場作業等について講義し、その後、卒業生を含む会員企業の若手社員パネラーとのディスカッションを行った。この事業は参加した生徒および学校当局から高く評価されている。

また、3年生を対象とした現場見学会を、5月に開催した。

#### 4 労働安全衛生活動事業の推進

労働安全衛生に関する職長・安全衛生責任者教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育等各種教育を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで事業計画通り開催した。

#### 5 人材教育・研修事業等の実施

技術系新入社員研修、新入社員教育（接遇）、フォローアップ研修、中堅技術者セミナー、講演会等を、事業計画通り実施した。

## 6 視察研修事業の実施

令和5年10月に、「出光興産千葉事業所」、令和6年2月に、「環状7号線地下調節池」等の視察研修会を実施した。

## 7 日本空調衛生工事業協会関東支部の事業活動の推進

関東1都7県の空調衛生工事業団体が連携して共通の課題に取り組むための「関東支部連絡協議会」（令和5年11月7日）、「国土交通省関東地方整備局営繕部との意見交換会」（令和6年2月22日）を開催した。

また、令和5年10月26日、秋田県秋田市で開催された「日空衛第28回全国会議」に参加した。

## 8 適正な入札契約制度に向けて意見交換会の実施

「入札契約制度検討P・T」において、諸課題を抽出し改善策を取りまとめ、「東京都財務局との意見交換会」「東京都議会自由民主党との令和6年度予算要望等ヒアリング」において要望活動を行った。

東京都に対しては、分離発注方式維持継続、配置予定技術者の要件緩和、適正な工期設定、適正な予定価格の算定、計画的な発注および働き方改革、資機材の価格高騰に対する支援を強く要望した。

## 9 技術者・技能者の確保・育成

平成20年6月、設備3団体と連携し「技能者の人材確保・育成合同委員会」を発足させ、この委員会のもとに、技能者確保育成部会・少子高齢化対策部会・労働環境部会の3部会を設け、具体的な対応策について検討を重ねてきた。また、技能者の労働意欲向上と能力の見える化を目的とした、「技能者レベルランク認定制度」を、令和5年度も実施し、3月7日の認定委員会において、「特A」11名の「合格者認定」を行い、3月22日の「認定証授与式」において合格者に対し顕彰を行った。

## 10 広報の充実

空調衛生工事業のイメージアップ及び若く優秀な技術者・技能者の人材確保等を目的として、一般向けの広報活動について検討してきた。その広報活動の一環として、小学生を対象とした体験型広報イベント「空気と水の体験教室」を開催した。

## 11 防災・減災への対応

防災・減災意識の向上を図り、安全・安心なまちづくりに寄与するため、各種取組みを行った。東京都水道局とは「災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定」を締結しており、緊急対応の体制確保に向け、毎年定期的  
に実施している、災害時の連絡体制のシミュレーション（伝達訓練）を9月に実施した。

また、令和5年度から東京都の「事業所防災リーダー」に登録し、防災情報や発災時の災害情報等を受け取り、ホームページを通じて会員各社に発信する取組みを開始した。さらに、9月に防災対策の講演会を開催した。

## 5 令和5年度に実施した主な事業

### 1) 設備工事の技術及び安全衛生管理の調査研究及び普及 (定款第4条(1))

#### (1) 中堅技術者セミナー

令和5年度中堅技術者セミナーを開催した。

技術委員会の企画・立案で当会会員会社の中堅技術者を対象として、最新の技術・技能の習得、参加者の交流と繋がりができるようにカリキュラムを編成し、下記の内容で実施した。

・日 時：令和5年11月10日(金)

・場 所：当会 大会議室

・参加者：14名

〔講義1〕『設備技術者のための自動制御』について

講師 株式会社朝日工業社 上野孝之氏

〔講義2〕『自動制御設備・電気設備』について

講師 高砂熱学工業株式会社 吉川弘信氏

〔講義3〕『トラブル事例』について

講師 株式会社テクノ菱和 畠山和浩氏

〔講義4〕『給水・揚程計算及び給水ポンプ選定についての要点』について

講師 櫻井工業株式会社 石塚真寛氏

〔講義5〕『技術者のための取引先の与信把握』について

講師 ダイダン株式会社 世古口和樹氏

#### (2) 視察研修会

技術委員会企画の視察研修会

・日 時：令和5年10月13日(金)

・場 所：出光興産(千葉県)・タツノ横浜工場(神奈川県)

・参加者：13名

業務委員会企画の視察研修会

・日 時：令和5年11月2日(木)

・場 所：牛久大仏・袋田の滝(茨城県)

・参加者：18名

#### 労務委員会企画の視察研修会

- ・日 時：令和6年2月8日（木）
- ・場 所：環状七号線地下調節池（東京都）・松岡醸造（埼玉県）
- ・参加者：15名

### (3) 新入社員研修会

#### ① 新入社員研修（接遇）

業務委員会の企画・立案で当会会員会社の新入社員を対象として、ビジネスマナーに関する研修を、下記の内容で実施した。

今年度は申込者多数の為、下記日程で2回開催した。

- ・日 時：第1回 令和5年4月7日（金）  
第2回 令和5年4月10日（月）  
9：50～17：00
- ・場 所：当会 大会議室
- ・講 師：公益財団法人 日本生産性本部 三 浦 哲 氏
- ・参加者：11社41名（男性38名、女性3名）
- ・講義内容：(1) ビジネスマナーの基本  
(2) 電話対応  
(3) 接遇の基本  
(4) 総合ロールプレイング  
(5) 所感文「半年後の私への手紙」

#### ② 技術系新入社員研修

技術委員会の企画・立案で当会会員会社の技術系新入社員を対象として、建築設備の基礎知識に関する研修を、下記の内容で実施した。

- ・日 時：令和5年4月4日（火）～6日（木） 9：00～17：00
- ・場 所：当会 大会議室
- ・受講者数：58名（東空衛15社53名、東冷協5名）
- ・講義内容：(1) 空調 建築設備と環境・空気調和設備概論・熱源システムと熱源機器  
・空調システムと空調機器・熱負荷計算・換気設備・排煙設備  
・ダクト設備と送風機・配管設備とポンプ  
講師：(株)朝日工業社 三 神 洋 子 氏  
高砂熱学工業(株) 松 根 進 氏



高砂熱学工業(株) 石井秀一氏

(株)三冷社 栗原晨輔氏

(2) 衛生 給排水衛生設備概論・給水設備・給湯設備・給排水通気設備・

衛生器具設備・消火設備・ガス設備・その他設備

講師：櫻井工業(株) 石塚真寛氏

(株)西原衛生工業所 青木一義氏

斎久工業(株) 青柳繁氏

(3) 共通 設計図&施工図の見方&描き方・施工管理・安全管理

講師：(株)テクノ菱和 上岡大輔氏

ダイダン(株) 稲垣英司氏

(株)朝日工業社 青木俊也氏

#### (4) 新入社員若手社員のフォローアップ研修会

今年度入社された新入社員をはじめ、入社3年目までの若手社員の方を対象により良い仕事をするための考え方を学ぶ研修を実施した。

・日 時：令和5年7月26日(水)

9:00~16:30 研修・グループ会議

・場 所：当会 大会議室

・参加者：10名

#### (5) 各種講習会

① 「排水設備工事責任技術者資格試験」受験準備講習会

・開催日：令和5年9月11日(月)

・場 所：東京都管工事会館

② 「給水装置工事主任技術者資格試験」受験準備講習会

・開催日：令和5年9月6日(水)・7日(木)

・場 所：東京都管工事会館

#### (6) 安全衛生管理活動について

建設業における労働災害は、長期的には減少傾向にあるが、死亡災害などの重大災害の発生率は他産業より多くなっており、その低減、撲滅は建設業界にとって重要課題となっている。

そこで、当会では厚生労働省(東京労働局)の進めている労働災害防止対策に積極的に

参加し、各種の事業を計画し、実施している。

特にこの種の事業は会員に限定することなく、広く管工事等設備業に携わる人を対象に密度の高い教育を行い災害防止対策に努めている。

#### ① 専門工事業者安全管理活動等促進事業

当会では、厚生労働省委託の自律的安全管理活動促進事業について、建設業労働災害防止協会を通じ専門工事業者の労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）の構築に協力員として積極的に参加し、各種技能講習等の開催に寄与している。

又、当会の労務委員会においては、この事業推進を全面的に支援協力を行っている。

#### ② 酸素欠乏等危険作業特別教育

<第1回> ・開催日：令和5年6月2日（金） 当会 大会議室

・講師：中村 明（東洋熱工業㈱）

・受講者：8名

<第2回> ・開催日：令和5年11月29日（水） 当会 大会議室

・講師：白馬 豪紀（三機工業㈱）

・受講者：4名

#### ③ 職長・安全衛生責任者教育

<第1回> ・開催日：令和5年7月27日（木）、28日（金） 当会 大会議室

・講師：近藤 俊晴（三建設備工業㈱）

新井 裕明（第一工業㈱）

・受講者：12名

<第2回> ・開催日：令和5年10月17日（火）、18日（水） 当会 大会議室

・講師：松井 文徳（高砂熱学工業㈱）

中村 明（東洋熱工業㈱）

・受講者：11名

#### ④ 高所作業車運転特別教育

・開催日：令和5年9月27日（水）

・場所：㈱アイチコーポレーション アイチ研修センター（上尾教習所）

・受講者：8名

#### ⑤ 安全体感教育

・開催日：令和5年5月29日（月）

- ・場 所：(株)日立プラントコンストラクション 柏営業所
- ・受 講 者：11名

⑥ 足場の組立て等に係る特別教育

- ・開 催 日：令和5年11月2日(木) 当会 大会議室
- ・講 師：飯 島 浩 (齋久工業(株))  
上 谷 孝 (齋久工業(株))
- ・受 講 者：6名

⑦ フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

- <第1回> ・開 催 日：令和5年7月14日(金) 当会 大会議室
- ・講 師：中 村 明 (東洋熱工業(株))  
元 山 貴 之 (東洋熱工業(株))
- ・受 講 者：16名
- <第2回> ・開 催 日：令和5年11月28日(火) 当会 大会議室
- ・講 師：渥 美 雅 敏 (新菱冷熱工業(株))  
児 玉 誠 二 (新菱冷熱工業(株))
- ・受 講 者：3名

⑧ 職長・安全衛生責任者能力向上教育

- <第1回> ・開 催 日：令和6年2月21日(水) 当会 大会議室
- ・講 師：松 井 文 徳 (高砂熱学工業(株))
- ・受 講 者：16名
- <第2回> ・開 催 日：令和6年3月8日(金) 当会 大会議室
- ・講 師：松 井 文 徳 (高砂熱学工業(株))
- ・受 講 者：20名

2) 設備工事業の情報、資料の収集及びその普及・啓発 (定款第4条(2))

(1) 政治・経済・その他講演会

◇第1回目

- ・日 時：令和5年9月5日(火) 14:30~16:00
- ・会 場：当会 大会議室
- ・講 師：セーフティアドバイザー・防災士 石井修一氏
- ・演 題：ディズニーの危機管理から学ぶ中小企業の防災対策  
—100点はできることの積み重ね—
- ・出席者：21名

◇第2回目

- ・日 時：令和6年2月6日(火) 14:30~16:00
- ・会 場：当会 大会議室
- ・講 師：フリーアナウンサー・スピーチコンサルタント 倉嶋麻帆氏
- ・演 題：顧客感動を高める笑顔とプラス思考コミュニケーション術
- ・出席者：30名

3) 設備工事の資材、機器類の研究及び普及並びに会館施設、機器類等の提供  
(定款第4条(3)(4))

(1) 労働災害防止活動への会館の積極的活用

自立的安全衛生活動の促進は、災害防止には不可欠のことであり、安全衛生教育の積極的な実施のため、更に安全管理能力の向上をはかるため実技講習、災害防止会議、実務研修、講習会等に、当会の会議室を幅広く提供し、災害防止を通じ公益に寄与した。

(2) 会館の保全及び管理

所管する業務委員会では、会館の経年劣化を踏まえ、今後の維持管理について検討していくこととする。

4) 官公庁その他関係機関との連絡、要望・建議等について (定款第4条(5))

(1) 関東地方整備局営繕部との意見交換会

日本空調衛生工事業協会関東支部の事業活動の一環として、1都7県8団体が出席して、業界の当面する諸問題や社会情勢の見通しなどについて国土交通省関東地方整備局営繕部担当官と意見交換を行った。

・日 時：令和6年2月22日(木) 13:30～15:30

・場 所：ホテル「プリランテ武蔵野」

・出席者：

〔関東地方整備局〕

末兼営繕部長 小谷設備技術対策官

神鳥官庁施設管理官 眞鍋調整課長

遠藤営繕技術管理課長 小林技術・評価課長

五十嵐営繕技術管理課課長補佐

花野井整備課課長補佐

〔東京空調衛生工業会〕

黒田会長 和泉副会長 野口専務理事

清水渉外委員会委員長 中上渉外委員会副委員長

〔茨城県空調衛生工事業協会〕

植田会長 池田副会長

〔栃木県設備業協会〕

小牧会長 大橋副課長

〔群馬県機械設備工業会〕

和田理事長 清水副理事長 飯塚事務局長

〔埼玉県空調衛生設備協会〕

長沼会長 大原理事 中村事務局長

〔千葉県空調衛生工事業協会〕

板橋副会長 長谷川常務理事

〔神奈川県空調衛生工業会〕

三澤副会長 鈴野専務理事

〔長野県空調衛生設備業協会〕

篠田会長 成田副会長 宮島副会長

・議 事：

1) 関東地方整備局から

① 令和6年度官庁営繕関係予算概要について

② 国土交通省直轄営繕工事における各種取組みについて

2) 日本空調衛生工事業協会関東支部からの要望事項

① 直接(分離)発注維持継続のお願い

② 入札参加資格要件及び技術者に関する要望

③ 「働き方改革」に関する要望

④ 「生産性向上」に関する要望

⑤ スライド条項の適用に関する要望

⑥ 各団体からの要望事項等

茨城県空調衛生工事業協会

東京空調衛生工業会

⑦ その他

3) 意見交換

(2) 入札契約方針等の説明会

国土交通省関東地方整備局より、入札契約方針等の理解をより一層深めることを目的とした説明会開催の要請があり実施した。

・日 時：令和5年7月5日（水） 14：00～15：00

・場 所：当会 大会議室

・講 師：国土交通省関東地方整備局営繕部

官庁施設管理官

神島博俊氏

技術・評価課 課長

小林輝雄氏

・参加者：会場参加者37名

(3) 関係機関に対する建議請願

発注機関の独立行政法人化に伴い「直接（分離）発注の適正な実施」について、設備工事業4団体による請願活動を推進した。

〔陳情4団体〕 日本電設工業協会

日本空調衛生工事業協会

東京電設工事業協会

東京空調衛生工業会

〔陳情した関係機関〕

防衛省南関東防衛局

東京大学

産業技術総合研究所

国立病院機構

日本赤十字社

都市再生機構

国立印刷局

労働者健康安全機構

防衛省北関東防衛局  
成田国際空港株式会社

(4) 東京都及びその他の省庁との連絡、説明会等への対応及び資料配布について

東京都及びその他の省庁からの要請により説明会等へ出席し、関係者及び各会員に所要の連絡、資料配布などを行った。

|   | 開催日              | 主要な議題               | 主管局    |
|---|------------------|---------------------|--------|
| 1 | 令和5年<br>5月30日(火) | 東京都建設業関係労働時間削減推進協議会 | 東京労働局  |
| 2 | 12月26日(火)        | 水道局三団体連絡会議          | 東京都水道局 |
| 3 | 令和6年<br>2月5日(月)  | 意見交換会               | 東京都財務局 |

《東京都との意見交換会》

- ・日時：令和6年2月5日(月) 15:45～16:45
- ・場所：東京都庁第一本庁舎北塔31階 特別会議室
- ・出席者：
  - 〔東京都財務局〕 五十嵐経理部長 須藤契約調整担当部長 他4名
  - 〔入札監視委員会〕 仲田委員 原澤委員
  - 〔東京空調衛生工業会〕 黒田会長 和泉副会長 野口専務理事 根本事務局長  
(渉外委員会) 清水委員長 中上副委員長  
(入札契約制度検討PT) 酒井委員 池田委員

《都議会自民党「令和6年度東京都予算等に対する要望聴取会」》

- ・日時：令和5年9月4日(月)
- ・場所：都議会議事堂2階 第2会議室
- ・出席者：
  - 〔都議会自民党〕 菅野幹事長、川松政務調査会長、ほっち総務会長 他
  - 〔東京空調衛生工業会〕 黒田会長、赤瀬副会長、和泉副会長  
野口専務理事、根本事務局長



(5) (一社) 日本空調衛生工事業協会等の会議

一般社団法人日本空調衛生工事業協会関東支部団体会員として、当会は関東支部の東京地区を所管し、その事業推進と関連する機関の各種会議等に出席し関係者への連絡、資料等の配布を行い、設備工事業界の地位向上に協力した。

なお、当会に関東支部事務局が設置されており関東支部事業について活動を行っている。

(1) (一社) 日本空調衛生工事業協会関係の会議

① 令和5年度総会

- ・日 時：令和5年5月23日（火）
- ・場 所：帝国ホテル

② 全国事務局代表者会議

- ・日 時：令和5年9月7日（木）
- ・場 所：品川プリンスホテル

③ 全国会議

- ・日 時：令和5年10月26日（木）
- ・場 所：秋田キャッスルホテル（秋田県）

(2) (一社) 日本空調衛生工事業協会・関東支部の会議

令和5年度関東支部連絡協議会

- ・日 時：令和5年11月7日（火）
- ・場 所：ホテルメトロポリタン高崎（群馬県）

## 5) 設備工事業の普及及び啓発のための広報・協力 (定款第4条(6))

### (1) 会報の発行と分離発注資料の活用

#### ① 会報の発行

会報は年3回(6月、10月、令和6年1月)発行し、会員、賛助会員並びに関係する機関に送付して会の事業を広く紹介し、広報に努めた。

また、編集にあたっては当会事業に直接係わる記事ばかりでなく、経営的・技術的分野なども取り入れ、親しみ易く内容のある会報づくりに心掛けた。

#### ② 分離発注資料の活用

分離分割発注の取組みについては、日空衛を中心に各協会及び各会員が積極的に活動をしており、更にこの運動を効果的に推進するため、当会では日空衛が作成した「最適な発注方式のご提案」を、関係方面に配布するなど積極的な運動を展開した。

特にリニューアル市場は拡大しており、空調衛生工事業の独自性の確保と提案に向け会員自身が顧客の理解を求めることに活用し、効果をあげている。

### (2) ホームページの活用と情報の提供

積極的に当会の事業の目的と活動状況等を公開し、事業内容等を周知する方法として、ホームページを活用し、会員のみならず一般の人々への情報の提供を行っている。

・ホームページアドレス <https://www.toukuei.or.jp>

### (3) 教育機関との連携・協力

設備工業科を設置する都立蔵前工科高校との連携・協力を推進するために必要な情報を交換し、下記の通り協力した。

設備科目を専攻する高等学校在学生在が現場見学を通じて、設備技術の最先端を学習することは、在學生、教育機関、設備業界にとって極めて有益な事業となる。希望に満ちた若い学生諸君にとって将来の活路を開き、設備業界にとっては経営上の人的資源も期待される注目すべき公益事業となった。又、当事業の推進には当会会員の全面的協力の上で成り立ち、学生の希望に沿った効果的な就業体験となった。体験学習生及び都立蔵前工科高校からは感謝のお礼と感想文等による交流もあり、今後も連携・協力を強化し、人材の確保・育成を図ることとしたい。

① 蔵前工科高校生対象「現場見学会」

広報委員会の所管で、会員企業の協力のもと蔵前工科高校3年生を対象に「現場見学会」を実施した。

- ・実施日：令和5年5月29日（月）
- ・見学場所：船橋アリーナ計画
- ・協力会社：ダイダン株式会社
- ・参加者：3年生20名、教員6名

② 蔵前工科高校への「出前講座」

技術委員会の所管で、「出前講座」を実施した。これからも継続して実施していく予定である。

- ・実施日：令和5年6月30日（金）
- ・参加者：2年生27名、保護者若干名
- ・講師：徳弘洋子氏  
（徳弘建築設計事務所、日本女子大学・神奈川大学非常勤講師）
- ・内容：第1部 ストップ・ザ・温暖化 建築設備技術者の挑戦  
第2部 第一線で活躍する若手社員とのディスカッション

(4) 賛助会員との交流会

業務委員会の所管事業として、正会員、賛助会員相互の活性化を促し、情報（新製品・新技術等）の共有化に寄与するため、下記の通り交流会を開催した。

- ・開催日：令和5年11月14日（火） 17：00
- ・場所：如水会館
- ・出席者：205名（正会員106名・賛助会員99名）

(5) 適正取引に関する講習会の開催

法令順守及び企業倫理の十分な認識等、その徹底を図ることを目的に専門家による講習会を日空衛との共催により下記の通り開催した。

なお、今年度は「会場参加」と「WEB参加」の2種類の参加方法を設けて開催した。

- ・日時：令和6年2月20日（火） 14時00分～15時00分
- ・場所：当会 大会議室 及び WEB配信
- ・講義：「建設業と人権」

～「ビジネスと人権」に関する行動計画を踏まえた対応とは～

- ・ 講 師：一般財団法人 建設経済研究所 研究理事 朝 津 陽 子 氏
- ・ 参 加 者：会場参加者10名、WEB参加者13名

#### (6) 建築設備3団体との協力活動

設備専門業者3団体と共同で、「技能者レベルランク認定制度」を平成24年度より運用開始した。この制度は、技能者にランク呼称を付与し次のステップへと啓蒙するとともに、高品質施工の確保、さらには業界の活性化につなげることを目的としている。

また、「技能者の人材確保・育成」に向け、諸課題を検討する意見交換会を継続して行なっている。

〔設備専門業者3団体〕

- ・ 関東配管工事業協同組合
- ・ 関東甲信越保温保冷工業協会
- ・ 関東ダクト工業会

「技能者レベルランク認定制度」認定証授与式

- ・ 開 催 日：令和6年3月22日（金）
- ・ 会 場：空衛会館 大会議室
- ・ 出 席 者：特上級技能者 11名

#### (7) 広報イベント「空気と水の体験教室」の開催

「一般の人に対する空調衛生技術のPR」として、『空気と水の体験教室』と題して、小学生を対象に体験イベントを開催した。昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を見合わせていたが、今年度は参加者数を制限し、3年振りに開催した。

- ・ 開 催 日：令和5年8月5日（土）
- ・ 会 場：TOTO株式会社「TOTOテクニカルセンター東京」
- ・ 参 加 者：16家族（児童20名、保護者24名）
- ・ 内 容：(1) TOTOエコ教室  
(2) TOTOテクニカルセンター見学  
(3) 衛生器具の体験教室

## 6) 防災等緊急時における応急活動 (定款第4条(7))

### (1) 災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定について

当会では平成24年7月26日付で東京都水道局と「災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定」を締結している。緊急時の応急活動に対応するため、会員の協力の下、緊急連絡網を整備している。

今年度は、9月1日に防災協定における緊急連絡網伝達訓練を実施した。

## 7) 低炭素等社会実現に関する設備技術の研究及び普及並びに協力

(定款第4条(8))

当会では東京都主催の「東京都フロン等回収・処理推進協議会」への参加や、当会と日空衛との共催で東京都環境局の温暖化対策担当課長を講師に招いて「地球温暖化対策」をテーマにした講習会の開催、当会が主催する技術者セミナーや視察研修会などを通じて低炭素社会実現に関する設備技術の研究及び普及に取り組んできた。

## 8) その他の事業・会合 (定款第4条(9))

### (1) 東京都水道局との「三団体協議会」に参画

令和5年度事業として、東京都水道局及び業界団体との調整連絡会議に参画し、技術情報の共有、当局への要望事項、当局からの指導・連絡事項の円滑化をはかり、相互の事業推進に効果をあげることが出来た。

関係団体：東京都管工事工業協同組合

三多摩管工事協同組合

一般社団法人 東京空調衛生工業会

### (2) 福祉団体等への各種寄付

社団法人としての当会の活動は、各種の調査・研究、研修・見学、会誌の発行等を通して技術の向上及び交流を図り、設備工事業の能率化と高度化に努め生活環境等の向上に貢献しているが、併せて下記のような活動を支援することにより公共の福祉の推進に寄与している。

|   | 支援月     | 支援内容            | 支援団体名        |
|---|---------|-----------------|--------------|
| 1 | 令和5年12月 | 複十字シール募金(結核予防)  | 公益財団法人 結核予防会 |
| 2 | " 12月   | 赤い羽根共同募金        | 東京都共同募金会     |
| 3 | 令和6年3月  | 令和6年能登半島地震災害義援金 | 石川県          |

### (3) 業務委員会企画のAPAゴルフ大会

- ・日 時：令和5年10月20日(金)
- ・場 所：レイクウッドゴルフクラブ(神奈川県)
- ・参加者：29名

### (4) 新年賀詞交歓会

令和6年新年賀詞交歓会を下記の通り開催した。

- ・日 時：令和6年1月16日(火) 17:30
- ・場 所：ロイヤルパークホテル(中央区)
- ・出席者：正会員、賛助会員 323名

#### (5) 関連団体賀詞交歓会

|           |               |   |            |
|-----------|---------------|---|------------|
| 令和6年1月10日 | 東京管工機材商業協同組合  | 於 | 東京ドームホテル   |
| 1月12日     | 東京都管工事工業協同組合  | 於 | 八芳園        |
| 1月15日     | 千葉県空調衛生工事業協会  | 於 | オークラ千葉ホテル  |
| 1月15日     | 関東甲信越保温保冷工業協会 | 於 | 明治記念館      |
| 1月16日     | 関東ダクト工業会      | 於 | KKR ホテル    |
| 1月17日     | 日本計装工業会       | 於 | KKR ホテル    |
| 1月19日     | 神奈川県空調衛生工業会   | 於 | ホテルニューグランド |
| 1月19日     | 東京電業協会        | 於 | ホテルニューオータニ |
| 1月24日     | 東京都冷凍空調設備協会   | 於 | 機械振興会館     |
| 1月24日     | 関東配管工事業協同組合   | 於 | 八芳園        |
| 1月25日     | 東京都設備設計事務所協会  | 於 | アルカディア市ヶ谷  |

#### (6) 関連団体等の主要会合

|      |           |                       |
|------|-----------|-----------------------|
| 令和5年 | 5月11日(木)  | 建設業労働災害防止協会理事会・代議員会   |
|      | 5月23日(火)  | 日本空調衛生工事業協会定時総会       |
|      | 9月7日(木)   | 日本空調衛生工事業協会全国事務局代表者会議 |
|      | 10月26日(木) | 日本空調衛生工事業協会全国会議       |

#### (7) 防災協定締結業者の経営事項審査「加点」事務取扱いについて

国土交通省総合政策局建設業課より「社団法人等の加入団体が防災協定を締結している場合の経営事項審査における加点の取扱いについて」告示・通知の改正が行われました。当会では平成24年7月26日付の東京都水道局と「災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定」を締結根拠とし社会貢献活動を評価されるべく会員からの要請に応じて「証明書」の発行等、事務取扱いを継続して実施している。

## 6 令和5年度各種顕彰受賞者

### ◎ 国家褒章

会員会社の受賞者はありません。



## 7 加盟団体

- |                |             |      |
|----------------|-------------|------|
| 1. 一般社団法人      | 日本空調衛生工事業協会 | 団体会員 |
| 2. 公益社団法人      | 空気調和・衛生工学会  | 賛助会員 |
| 3. 公益財団法人      | 公益法人協会      | 会 員  |
| 4. 公益社団法人      | 日本冷凍空調学会    | 会 員  |
| 5. 一般社団法人      | 建築設備技術者協会   | 賛助会員 |
| 6. 建設業労働災害防止協会 |             | 団体会員 |
| 7. 公益社団法人      | 被害者支援都民センター | 賛助会員 |

## 令和5年度 各種行事及び事業等の報告

### 【令和5年】

- 4月 4日(火)～ 6日(木) 令和5年度新入社員(技術系)研修会 (空衛会館)
- 4月 7日(金)、10日(月) 令和5年度新入社員(接遇)教育 (空衛会館)
- 4月12日(水) 東京建設業協会「広報誌編集グループ会議」 (東京建設会館)
- 5月11日(木) 建設業労働災害防止協会「理事会、代議委員会」 (ホテルエドモント)
- 5月19日(木) 東空衛「第16回定時総会」(TKP築地新富町カンファレンスセンター)
- 5月23日(火) 日空衛「第75回定時総会」 (帝国ホテル)
- 5月24日(水) 低圧電気取扱業務に係わる特別教育 (空衛会館)
- 5月25日(木) 独立行政法人等への分離発注要請活動 4団体打合せ (東京電業協会)
- 5月29日(月) 安全体感教室 (日立プラントコンストラクション)
- ” 蔵前工科高校現場見学会 (船橋市内現場)
- 5月30日(火) 東京労働局「建設業関係労働時間削減推進協議会」 (東京労働局)
- 6月 2日(金) 酸素欠乏等危険作業特別教育 (空衛会館)
- 6月 7日(水) 入札契約制度検討PT(第1回) (空衛会館)
- 6月13日(火) 日空衛「建設キャリアアップシステム事業推進委員会」 (日空衛)
- 6月30日(金) 蔵前工科高校出前講座 (蔵前工科高校)
- 7月 5日(水) 関東地整「入札契約制度説明会、意見交換会」 (空衛会館)
- 7月 6日(木) 技能者レベルランク認定制度認定委員会(第1回) (空衛会館)
- 7月12日(水) 東京建設業協会「広報誌編集グループ会議」 (東京建設会館)
- 7月14日(金) フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 (空衛会館)
- 7月20日(金) 空調衛生企業年金基金「代議員会議」 (如水会館)
- 7月24日(月)～8月17日(水) 独立行政法人等への分離発注要請活動 (東京大学他)
- 7月26日(水) 新入社員フォローアップ研修会 (空衛会館)
- ” 入札契約制度検討PT(第2回) (空衛会館)
- 7月27日(木)～28日(金) 職長・安全衛生責任者教育 (空衛会館)
- 8月 5日(土) 空気と水の体験教室 (TOTOテクニカルセンター)
- 8月14日(月)～16日(水) 夏季休館
- 9月 1日(金) 防災協定緊急連絡網伝達訓練
- 9月 4日(火) 都議会自民党「東京都予算等に対する要望聴取会」 (都議会自民党)
- 9月 5日(火) 講演会(第1回) (空衛会館)
- 9月 7日(木) 日空衛「全国事務局代表者会議」 (品川プリンスホテル)
- 9月27日(水) 高所作業車運転特別教育 (上尾市アイチ研修センター)

- 10月12日(木) 東京建設業協会「広報誌編集グループ会議」 (東京建設会館)
- 10月13日(金) 視察研修会 (出光興産(株)、(株) タツノ)
- 10月17日(月)、18日(火) 職長・安全衛生責任者教育 (空衛会館)
- 10月20日(金) APAゴルフ大会 (レイクウッドゴルフクラブ)
- 10月26日(木) 日空衛「第28回全国会議」 (秋田キャッスルホテル)
- 11月 2日(木) 足場の組立て等に係る特別教育 (空衛会館)
- 〃 視察研修会 (牛久大仏、袋田の滝)
- 11月 7日(火) 日空衛関東支部「連絡協議会」 (ホテルメトロポリタン高崎)
- 11月10日(金) 中堅技術者セミナー (空衛会館)
- 11月14日(火) 正会員・賛助会員交流会 (如水会館)
- 〃 東京建設業協会「建設労働者確保育成事業推進委員会」 (東京建設会館)
- 11月28日(火) 三団体(東管協、三管協、東空衛)協議会 (東京都管工事会館)
- 〃 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 (空衛会館)
- 11月29日(水) 酸素欠乏等危険作業特別教育 (空衛会館)
- 12月26日(火) 東京都水道局と三団体打合せ会 (東京都管工事会館)
- 12月29日(木)～1月4日(水) 年末年始休館

【令和6年】

- 1月15日(月) 東京建設業協会「広報誌編集グループ会議」 (東京建設会館)
- 1月16日(火) 新年賀詞交歓会 (ロイヤルパークホテル)
- 1月26日(金) 空調衛生企業年金基金「代議員会議」 (如水会館)
- 2月 5日(月) 東京都財務局との意見交換会 (東京都庁)
- 2月 6日(火) 講演会(第2回) (空衛会館)
- 2月 8日(木) 視察研修会 (環状7号線地下調節池)
- 2月20日(火) 建設業の適正取引等に関する講習会 (空衛会館、WEB)
- 2月21日(水) 職長・安全衛生責任者能力向上教育(第1回) (空衛会館)
- 2月22日(木) 関東地方整備局営繕部との意見交換会 (ホテルプリランテ武蔵野)
- 3月 7日(木) 技能者レベルランク認定制度認定委員会(第2回) (空衛会館)
- 3月 8日(金) 職長・安全衛生責任者能力向上教育(第2回) (空衛会館)
- 3月13日(水) 東京建設業協会「建設労働者確保育成事業推進委員会」 (東京建設会館)
- 3月15日(金) コンプライアンス委員会(第13回) (空衛会館)
- 3月21日(木) 日空衛「理事会・諮問委員会合同会議」 (如水会館)
- 3月22日(金) 技能者レベルランク認定制度認定証授与式 (空衛会館)
- 3月29日(金) 日空衛「団体会員WEB交流会」 (WEB)